

ひたちとアジア

第44号

2012年(平成24年)8月

発行：ひたちとアジアの文化交流をすすめる会 広報部会



ネパール文化講演会開催



平成24年度総会と平行して

ネパールの国花：ジャクナゲ



講演会「楽しく学ぼう！ネパールの国ってどんな国」ネパールの方が舞台上に勢ぞろい

ネパール出身の男性4人、女性5人とその子供たちの美しい民族衣装の紹介と小学4年のカフレ スレヤちゃんの可愛いネパール舞踊とエソダさん（タパさんの奥様）の大人の踊りに楽しいひとときを過ごしました。

懇親会ではネパール料理サモサとミルクティーをいただきながら、ネパールの話に花が咲き、最後にエソダさんの指導でネパールの柔軟体操を出席の皆さんとともに楽しみました。

今回の講師タパさんは日本の大学で「国際理解」という講座のほか多くのことに関わってお

られます。これからも私達「ひたちとアジア」との繋がりを続けて行きたいと思います。

5月19日(土)日立シビックセンター会議室において「ひたちとアジアの文化交流をすすめる会」の平成24年度総会が開催されました。

午後1時30分から6時まで、総会・ネパール文化講演会ならびに懇親会が5階の三つの会議室を使って行われました。

総会では平成23年度の事業が事務局から報告され、引き続いて平成24年度の事業計画案と今後の予定を話し合いました。講演会は「楽しく学ぼう！ネパールってどんな国」と題して、ネパール出身のタパ ジギャン クマル氏を講師として迎えました。

来日して10年というタパさんですが、現代の日本人でもお手本になるような、流暢で分かりやすい話に感心させられました。

※タパさんは、市内在住でネパール文化紹介に御協力いただいているサブコタ ラジェシュさんの紹介でお越しくございました。



懇親会参加者とみんなで

次回のテーマ国はブータンです。ところでブータンの産業ご存じですか？
それは水力発電（チュカ水力発電所）による電力販売が一番なのです（主にインドへ輸出）



小学4年のスレアちゃん



タパ夫人エソダさん



タパさん

ネパール文化講演会開催 5月19日

講師 タパ ジギャン クマルさん(ネパール政府公式通訳者)を迎えて

講演会講師のタパさんから、お礼状をいただきました。紹介します。

この度はひたちとアジアの文化交流の講演会にお招きいただきまして本当にありがとうございました。サプコタさん、その奥様のサンギタさんや事務局の皆様には、講演会の準備や調整で大変だったことと推察、御礼を申し上げます。

皆さまのご期待にお応えできるようなお話ができるかどうか不安でしたが、お陰様で参加の皆さまの反応が良かったので、自分なりに努力した結果、何とか無事に終えることができたことと安心して帰りました。

サプコタさんとはネパール大使館のイベントや留学生だった昔数回お目にかかったことがありましたが、実際にお話したこともあまりなく、それゆえに今回の連絡調整でご負担だったのではないかと申し訳なく思っております。サンギタさんが前日にネパール料理を作って待っていて、一晩泊めていただき、すっかり打ち解けて翌日の講演会に臨むことができました。

ネパールでは人とひとの距離が近く、初対面でも今回のようにお宅でやっかいになることは珍しく

ありません。今回の講演会がきっかけで横のつながりも広がり、横浜の我が家にも今度お招きしたいと思っています。

素晴らしい催しを継続的に実施されていらっしゃる「ひたちとアジアの文化交流をすすめる会」に、参加できて良かったです。妻のエソダも申しましたが、今回お話しや踊りをさせていただく中で、丁寧に準備したことが自分にとっても大変な経験になり、それがネパールと日本をつなぐ橋渡しとしてのわれわれの誇りでもあります。

行政はなんでも成果主義に代わり、点数や人数など数字で物事を決める時代にあり、人とひとのつながりやネットワークなど、目には見えにくい交流や絆が評価されない昨今ですが、是非いろいろなアジアの国々と市民の交流を継続され、ひいては世界平和につながると思います。今後ともどうぞよろしく願いいたします。まずはお礼まで。

Jigyan Kumar Thapa

カンボジア通信 第2シリーズ NO. 2

青年海外協力隊(理数科教師) 浅水 伸介

浅水伸介さんは、茨城大学在学中に「ひたちとアジアの文化交流をすすめる会」の活動に協力いただいております。卒業後、2009年1月から2年半にわたり、青年海外協力隊員としてカンボジアで活動されました。その後また昨年1月から短期ボランティアとしてカンボジアに赴任されました。第2シリーズとして、再度カンボジアの生の様子や現状を紹介していただいております。

～孤児院訪問を通して日本の問題点を考える～

先日、孤児院を訪れました。孤児というと、なんだか暗いイメージ、可愛そうというイメージが先行しがちですが。だいたいどの孤児院にいる子供達も明るく、そして礼儀正しいのです。私が訪問すると、皆笑顔で両手を前に合わせてカンボジアスタイルの挨拶をしてくれます。

カンボジアには孤児院が沢山あります。どこの孤児院も街からそれほど遠くないところにあり、電気、水道があり、学校も高校までは孤児院が面倒を見てくれるようになっていきます。規模は孤児院によってまちまちですが、多くとも100人、小さくとも30人くらいの規模です。ところが孤児院にいる子供達は全員孤児かということ、実は僅かしかないのです。

私の知っている孤児院に限って言うと、親や親戚を含め、全く身寄りのない『本当の孤児』はその僅か1割くらいでした。残り9割の子供は親はいないが親戚はいる。あるいは、親はいるけど子供を育てる能力がなく、孤児院に連れて来られたといったところです。本当に子供を育てられる能力がないのかどうか、調査しようにも、税金のシステムや収入を証明するような公的サービスが整っていないカンボジアではそれができず、親の自己申告で判断せざるを得ません。そのため、孤児院はだいたいどこも満員です。

子供達のケアの質が落ちるという事から、孤児の受入をある一定数に達した場合、それ以降は拒否する孤児院もある一方、来る者拒まずでどんどん受け入れてしまう孤児院もあります。前者は新たな孤児が来た場合に、その孤児は違う孤児院を探さねばならないという問題が、後者は子供達が多すぎて、食事や部屋などの問題さらには病気の感染などの問題が出てきます。つまり、本当に保護を必要としている子供が一番被害を受けてしまうのです。



孤児院内にある教室で

カンボジアでは特に田舎の場合、女性は二十歳までには結婚し、子供を設けることが一般的です。ただ、家族計画などはほとんど教育されておらず、母親は常に妊娠状態、子供が次々と生まれますが、育児などで生活が苦しくなり、孤児院に頼るとというのがほぼ決まった流れです。

こういう話を聞いていると、日本の生活保護の問題も関連付けて考えられなくもありません。日本でも、本当は働けるのに、生活保護で墮落し、現在は、過去最高の受給者数にまでなっています。日本では、生活保護者の囲い込みも起こっており、カンボジアでも孤児を囲い込んで孤児院を設立すれば援助がもらえると、『援助のための援助』も多く見られます。人間、甘やかされ、一旦墮落してしまうと、なかなか元には戻れないのが現状です。

国際協力の世界では、こういう事を『援助慣れ』と呼び、生活保護に例えると、もらって当たり前という事を意味しています。カンボジアの孤児院で見た問題というのは、形は異なるものの、日本でも起こっているのだと感じます。

そんな中、カンボジアでは、海外のNGOや政府系の援助団体が多くを占めますが、ローカルなNGOも誕生しつつある事です。

簡単に言えば、カンボジア人達が行うカンボジア人のための援助団体です。彼らは同じクメール民族ですし、自国の問題を自国民達で解決するという動きが出てきたことは素晴らしい事だと思います。

自分達のために努力する『自助努力』はどこ国でも必要な事だと痛感させられました。私も残りわずかの期間ですが、『自助努力』を学校教育を通して広めて行きたいと思っています。教育はこれらの現状を変えていかなければならないからです。

(2012年6月記)

情報コーナー



能「井筒」

初秋ひたち 能と狂言

と き 9月15日(土) 開演 13:00 (開場 12:30)
 ところ 日立シビックセンター音楽ホール特設能舞台
 番組 能『井筒』 鶴澤久(観世流能楽師) 他
 狂言『酔薑』 野村万蔵(和泉流狂言師) 他
 能『一角仙人』 観世鏡之丞(観世流能楽師) 他
 入場料 全席指定《販売中》



能「一角仙人」

	S席	A席	B席
前売券	4,750円	2,850円	1,900円
当日券	5,000円	3,000円	2,000円

【チケットに関するお問い合わせ】 日立シビックセンター TEL 0294-24-7720

関連団体のイベント・活動を紹介するコーナー (2012年8月~12月)

主催	タイトル	日時	場所	問い合わせ先
フレンドリー あんず	外国人のための生け花クラブ	第2又は第3水曜日 10:00	教育プラザ	0294-21-4150(福地)
	日本語教室	毎週火曜日 19:00 金曜日 14:00	(火)女性センター (金)教育プラザ	0294-25-3827(反町) 0294-42-8176(金岡)
	元気出せよ!ペペコンサート	11月10日(土)14:00	ゆうゆう十王Jホール	0294-21-4150(福地)
	あんずの年忘れ会	12月16日(日)12:00	会瀬交流センター	
国際交流 ボランティアネット ワークさくら	日本語教室	毎週木曜日 10:00 土曜日 10:00	(木)教育プラザ (土)女性センター	0294-21-5849(横田)
	百年塾フリーマーケット参加	9月30日(土)		
	外国人との文化交流会	10月13日(土)		
日立ユネスコ 協会	世界の料理教室 (インドの家庭料理)	10月21日(日) 9:30~12:30	会瀬交流センター	0294-35-6034(藤原)
	伝承味噌造り	12月15日(土) 12:30~15:00	講師の蛭田さん宅 (川尻町)	
ガールスカウト 10団	10団キャンプ	8月10日~12日	常陸太田市里美	0294-23-3156(小貫)
	キッツくらぶ	8月25日(土)	大みかまつり会場	
	ユニセフ募金活動	9月8日(土)	よかつべ祭り会場	
	地区別オープンデイ	10月	大久保交流センター	
	クリスマス会	12月	萬春園	

活動記録

(2012.4.1~7.31)

編集後記

- ◆活動推進部会(メンバー定例会)
6/30、7/21
- ◆広報部会 6/30、7/21
- ◆ひたち国際文化まつり実行委員会
7/27



マスコミでシリアの内紛情報が流れるたび、アハマト先生家族のことを心配しています。民族、宗教、文化の違いがあっても、人間流れるモノは同じと、垣根を取り払ってくれた人です。マレーシアのホテルの天井の片隅に、メッカ方位の張り紙がありましたが、彼のことを思い出しながら違和感なく旅行をしてきた思い出があります。(大槻記)

ひたちとアジアの文化交流をすすめる会 ホームページ <http://www.civic.jp/hitachi-asia/>

連絡・問い合わせ・感想・入会希望等は、日立シビックセンター内「ひたちとアジアの文化交流をすすめる会」事務局まで

TEL 0294(24)7711 FAX 0294(24)7970 E-Mail salon@civic.jp